

洪水について

洪水の原因は？

台風や前線の停滞によって数時間にわたって大量の雨が降る**集中豪雨**や、一時的に激しい雨が降る**ゲリラ豪雨**などによって、洪水が起こりやすくなります。



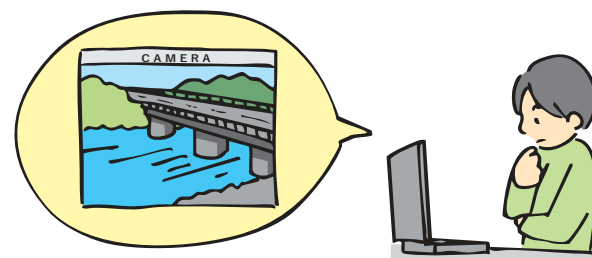
ゲリラ豪雨の前兆



河川には近づかない

河川カメラの活用

大雨・洪水時の河川は短時間で水位が急上昇します。大変危険ですので絶対に近づいてはいけません。河川の状況はライブカメラなどで確認するようにしましょう。
<http://kasen.midwest-kochi.jp/nakatosa/index.php>
(中土佐町 HP 「防災監視カメラ」より確認できます)



国土交通省 川の防災情報
では主要な河川の水位も確認できます。

久礼川

氾濫危険水位：4.60m
避難判断水位：4.20m
氾濫注意水位：2.80m



近年の風水害記録（抜粋）

台風11号（平成26年8月）
萩中地区にて大規模な法面崩壊

台風14号（令和3年9月）
猛烈な降雨による笹場川及び上ノ加江川の氾濫

台風4号（令和4年7月）
100年に一度ともいえる雨量を計測

台風14号（令和4年9月）
倒木及び塩害による風被害が多数報告

台風14号（令和3年9月）

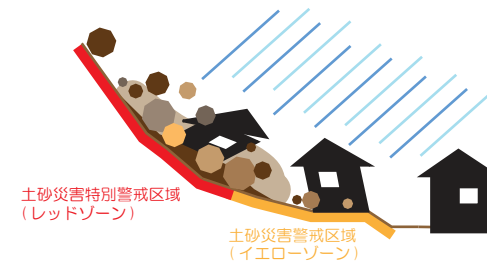
上ノ加江・矢井賀地区においては過去に経験したことのない猛烈な降雨により、笹場川及び上ノ加江川が氾濫した。住家及び農地の冠水などの被害も発生し、上ノ加江地区で595世帯、矢井賀地区では138世帯への避難指示を発令、最大で68世帯87名が避難した。住家被害は、床上浸水10戸、床下浸水67戸、住家裏等の法面崩壊などによる被害が発生した。

台風4号（令和4年7月）

4日から5日にかけて線状降水帯が発生、本町沿岸部は想像を絶する豪雨被害となり、100年に一度ともいえる雨量を計測し、上ノ加江をはじめ笹場や久礼の各地で大量の土砂が流失、道路や河川、農地、住宅、工場などに甚大な被害が発生した。

土砂災害について

防災マップの「警戒区域」って？



土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

土砂災害が発生した場合、建物が壊れて命や身体に著しい危害が生じるおそれのある区域

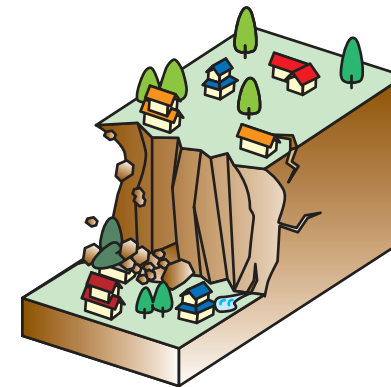
土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

土砂災害が発生した場合、命や身体に危害が生じるおそれのある区域

土砂災害の種類

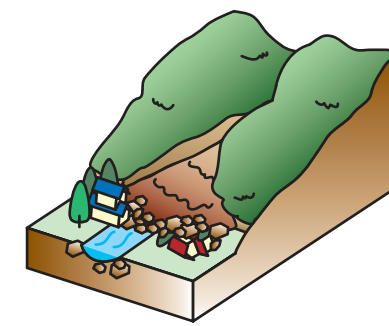
がけ崩れ

崖崩れとは、土砂や岩石が崖の縁から急に崩れ落ちる現象です。周辺の道路や建物に甚大な被害をもたらす危険があります。



土石流

土石流とは、山肌が崩壊し土砂や岩石が大量に流下する現象です。時速は20～40kmにもなり、一瞬で人家や田畑を飲み込みます。



地すべり

地面は何層もの地層が重なってできています。大雨が降ると、水を通しにくい粘土層の上に水が溜まり、上の地面が持ち上がることですべり落ちてしまいます。



土砂災害の前兆



● 川が濁った



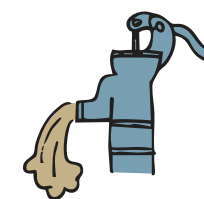
● 湧き水が止まった



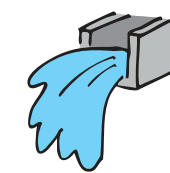
● 川の水位が下がった



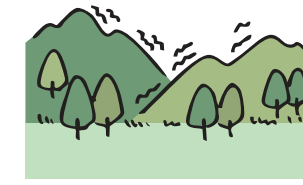
● 石が落ちてきた



● 井戸水が濁った



● 湧き水が増えた



● 地鳴りがする



● 山の木が傾いた



台風11号(平成26年8月)の影響による大規模な法面崩壊



台風14号(令和3年9月)の猛烈な降雨による河川氾濫が発生